

今年度から1月からヒラメ種苗生産始めました。

これまで4月より開始していたヒラメの種苗生産。それを今年度から1月スタートにしました。理由は1月のほうがより良質の卵を搬入できること、これまでよりじっくりヒラメの成長過程を観察できることなどがあげられます。ただ・・・年間で最も水温の低い時期に生産をするのは初めてのこと。これまでより気が引き締まる思いのなか種苗生産が始まりました。

ヒラメの卵が長井海洋実習場に到着する1月16日、こんな重要な日になんと大寒波が到来してしまいました。卵が入った飼育水の温度は、外気温の影響を受け予想以上に水温が下がり、初日から大慌て！！なぜなら卵の時期に温度変化を与えないのが鉄則だからです。無事孵化するのか？恐る恐る小さな卵を観察すると、ふかふかの卵黄のお布団にヒラメの赤ちゃんが寝転がっているようにみえます。小さな心臓も動いていました。赤ちゃんは生きています！！そして翌日から翌々日にかけて、待望のヒラメの赤ちゃんが約5万尾、無事生まれました！

それからはヒラメの子育てに追われ、あっという間の2ヶ月でした。現在も種苗生産中ですが、まず次回から稚ヒラメのこれまでの成長記録や生徒の飼育実習を報告したいと思います。



写真 ヒラメの受精卵（左）と拡大したもの（右）

- ・受精卵は浮遊卵なので、水面に浮きます。
- ・受精卵の大部分を卵黄が占め、中央にヒラメの赤ちゃんがいます。